

２．競技団体 調査結果

２．１．男女別登録人数

登録人数のうち女性の占める割合は、「競技者」では 31.0%であり、男性の半分以下である。また、「指導者」では 21.8%、「審判」では 19.1%であり、女性の割合はさらに低くなる。このように競技団体の構成員全体が男性多数であり、女性は少数派といえる。

他方、「団体」の登録人数では、女性の占める割合が 72.0%であり、男性団体を大きく超える。これは、女性の場合、バレーボールやバスケットボールなどの団体種目での登録が多いことが影響している。また女性競技者数が少ないにもかかわらず女性団体登録数が多いということは 1 団体あたりの人数が男性に比べて少ないことも推察できる。

男女のスポーツ実施率を比較すると、一般的には女性は男性よりも 10 パーセント程度低いと言われているが、本調査結果ではそれを大きく上回る男女差があった。このことは、女性の競技志向が男性に比べて低いことが影響していると推察されるが、そのみならず男性に比べて競技団体への参画の機会が少ないことが考えられる。今後は、指導者資格や審判資格を得るための講習会等への女性の参加促進や、競技者の登録システムの改善などが課題といえる。

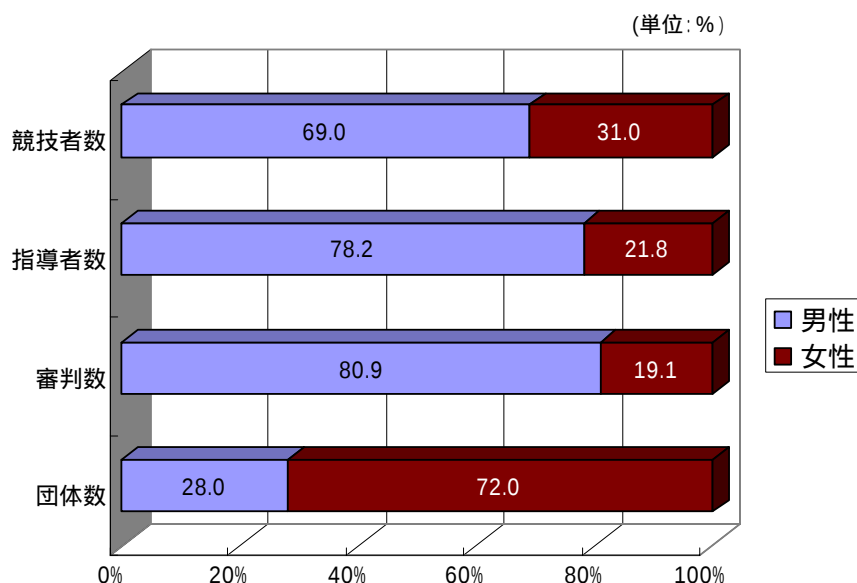


図 1：登録人数の男女比

表 1：登録人数の男女別合計（人）			
	男 性	女 性	合 計
競技者	3,648,065	1,636,138	5,284,203
指導者	113,818	31,771	145,589
審判	106,500	25,075	131,575
団体	47,155	121,016	168,171